

新・災害対策委員会開催

第8回 新・災害対策委員会

2022年10月26日(水) 14:00～15:30 会場&オンライン開催

第8回新・災害対策委員会を開催し、今年度の活動進捗と今後の活動の方向性について報告・議論を行いました。今回の委員会では議論項目として、生団連災害支援基金の設立にむけて事務局で設定した発動検討ライン、基金の運用プランについて参加者の皆様と意見交換を致しました。今後も生団連災害支援スキームによる支援実施を目指し、会員間の連携を強化して参ります。

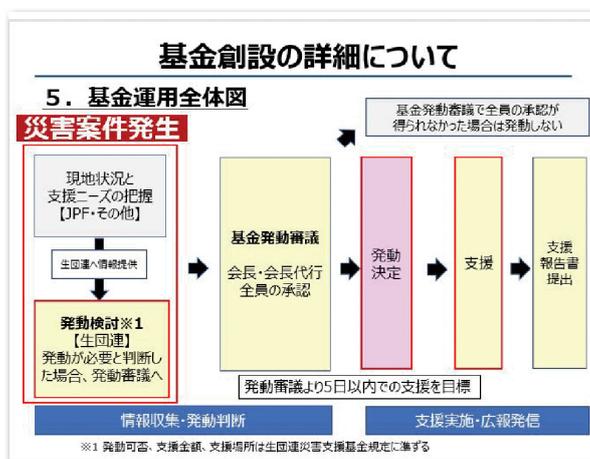
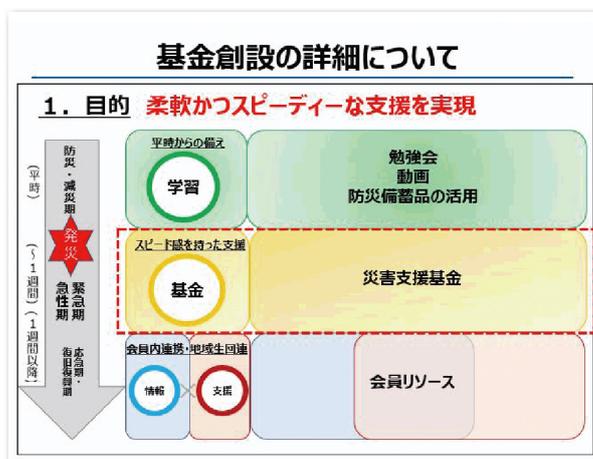
◆ 災害支援スキームの発動

台風15号で大きな被害を受けた静岡県へ、ジャパンプラットフォームからの支援要請を受け、約2年ぶりに物資による災害支援スキームを発動。すき家様より黒ウーロン茶(500ml) 2400本を支援。

◆ 生団連災害支援基金設立

生団連の「国民の生活・生命を守る」という理念のもと、支援金として有事(災害)の際に柔軟かつ迅速な支援を行うために設立。

今後は基金設立によって金銭を中心とした支援もできるようになり、スピード感をもった支援が可能となります。既存の物資による支援と基金運用の両輪で、災害支援対応の幅を広げ被災した国民の生活・生命を守る活動に繋げて参ります。



【講演】

人と防災未来センター 主任研究員 寅屋敷 哲也 様

「近年の災害の特徴を踏まえた企業防災・被災地支援の課題」

【出席者のご意見(一部抜粋)】

- 基金は即効性がある。支援実現までのスピードを期待したい。
- 基金は大事な取り組みであり、発災からどのタイミングで発動を判断するかが重要である。
- 寄付先の具体的なイメージを想定しておくべきである。
- 基金の創設は支援団体として非常に心強い。発災時には現地団体からも情報共有することで、スムーズな基金発動に協力したい。